

日刊建設通信新聞（2016年12月12日付4面掲載）

【JICA インド高速鉄道建設 詳細設計調査を開始】

## インド高速鉄道建設 詳細設計調査を開始

JICA

国際協力機構（JICA）は、日印首脳会談（2015年12月）で新幹線システムの採用が合意されたインドの高速鉄道建設（ムンバイ～アーメダバード）について、高速鉄道の土木構造物・システム等の設計や入札関連業務の支援を行う業務を詳細設計調査として開始する。

今回の案件はJICAが、高速鉄道の設計案作成や入札などを支援する「インド国高速鉄道建設事業詳細設計調査（有償勘定技術支援）」とし

て、日本コンサルタンツ、日本工営、オリエンタルコンサルタンツグループで構成する共同企業体と12月9日付で契約し、2020年までの予定で業務を実施する。

インド国高速鉄道建設事業について、JICAはことし

3月から「高速鉄道に係る制度整備支援プロジェクト（有償勘定技術支援）」を開始。インド国内初の高速鉄道走行に必要な安全認証制度の整備、各種技術基準の策定、駅や駅周辺の開発計画などについて技術支援している。